授業科目名・形態	精神保健福祉援助実習指導Ⅰ　演習	必修・選択の別	選択	単位数	1
科目担当者氏名	石岡和志　藤田博章	実務経験の有無	無	開講期	３年後期
科目ナンバリング	W6-3013p				

【授業の主題】

本科目は精神保健福祉実習の意義について理解するとともに精神障害者のおかれている現状、生活の実態や生活上の困難について学習し、個別指導及び集団指導を通して精神保健福祉援助に係る知識と技術について具体的かつ実際的に理解し、実践的な技術などを体得することを目的とする。また、精神保健福祉士として求められる資質・技能・倫理・自己に求められる課題把握など、総合的に対応できる能力を習得する。

【到達目標】

1．精神保健福祉援助実習の意義について、実習の四者関係から記述できるようになる。
2．精神障害者の置かれている現状、生活の実態や生活上の困難について、体験（見学）を通して理解できるようになる。
3．実習施設・機関の概要とそこで必要となる専門的知識と技術について、調査・発表などを通して発表できるようになる。

【授業計画・内容】

第 1 回　オリエンテーション、実習の意義と目的、実習の学習課題
第 2 回　実習を構成する用語の整理、実習の四者関係
第 3 回　実習の三層構造（職場実習・職種実習・ソーシャルワーク実習）、実習の流れ
第 4 回　実習における基本的な姿勢
第 5 回　4 年生実習報告会
第 6 回　NPO 法人ハートランドひまわり見学
第 7 回　4 年生実習体験談発表（事業所・病院）
第 8 回　精神保健医療福祉の現状
第 9 回　精神保健福祉援助実習の施設・機関①（精神科医療機関）
第 10 回　精神科医療機関について：精神科病院、精神科診療所（グループ発表）
第 11 回　精神保健福祉援助実習の施設・機関②（障害福祉サービス事業所）
第 12 回　障害福祉サービス事業所について：就労移行支援事業所他（グループ発表）
第 13 回　障害福祉サービス事業所について：相談支援事業所他（グループ発表）
第 14 回　精神保健福祉援助実習の施設・機関③（行政機関・その他の施設）
第 15 回　行政機関について：精神保健福祉センター、市町村（グループ発表）

【授業実施方法】

基本的には講義と演習（個人・グループ）で行う。

【事前・事後学習】

・テキストを中心に 30 分の予習及び演習内容を踏まえた 30 分の復習を行うこと。
・ソーシャルワーク実習の意義と実習先や利用者の状況を理解し、授業に臨むこと。
・精神保健福祉法並びに障害者総合支援法について復習し、実習先の法的位置づけや精神障害者の置かれている現状などを理解して、授業に臨むこと。

【主な関連する科目】

精神保健福祉援助実習

【教科書等】

日本ソーシャルワーク教育学校連盟編：ソーシャルワーク実習指導ソーシャルワーク実習（精神専門）、中央法規出版、2021.

【参考文献】

授業中に必要に応じて紹介する。

【成績評価方法】

レポートなどの提出や授業への取り組み姿勢 70%、グループ発表 30%で評価する。60%以上の得点を合格とする。

【学生へのメッセージ】

実習を効果的に進められるよう、これまでの学習や生活上の経験を活かしながら積極的・主体的に取り組むこと。